

セキュア PDF 文書の閲覧方法

※ピアレビュー書面審査システム・公募電子化システム共通

(2022年度版)

Ver1.1 2022.2/25

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

目次

1. はじめに: セキュア PDF 文書とは？	3
2. セキュア PDF 文書、認証(解錠)コードの入手方法	4
(1)ピアレビューシステムの場合	4
(2)公募システムの場合	5
3. Adobe Acrobat Reader(DC)でのセキュア PDF 文書の閲覧	6
(1) Acrobat Reader(DC)でセキュア PDF 文書を読み込む	6
(2) NEDO 認証サーバーにログインします。	6
(3) セキュア PDF 文書の残情報を合体させて完成版を作成・閲覧する	7
(4) NEDO 認証サーバーからログアウトして閲覧を終了する。	7
参考. よくあるトラブルと対処方法	8
1. エラー別一覧表	8
(1)『このファイルを開くことができません』『問題が発生しました』	8
(2)『この文書へのアクセスは制限されています。アカウントにはこの文書を開く権限がありません。』	8
(3)『セキュリティ警告:この文書は次のサイトに・・・』と表示され『ブロック』と『許可』の選択が出る場合	8
(4) Acrobat Pro(DC)が起動し、上記(2)、(3)のエラーが発生する場合	8
2. 各ケース別トラブル対応方法	9
トラブルケース1	9
トラブルケース2	10
トラブルケース3	11
トラブルケース4	12
他のトラブルケース	13
■「この文書を見るために Internet に接続してください」というエラーが出た場合	13
■上記エラー対策をしても認証サーバーログイン画面が表示されない場合	14
■10 分以上待ってもセキュア PDF 文書が閲覧できない場合	16
■Acrobat Reader DC をリフレッシュ(再構築)する。	16

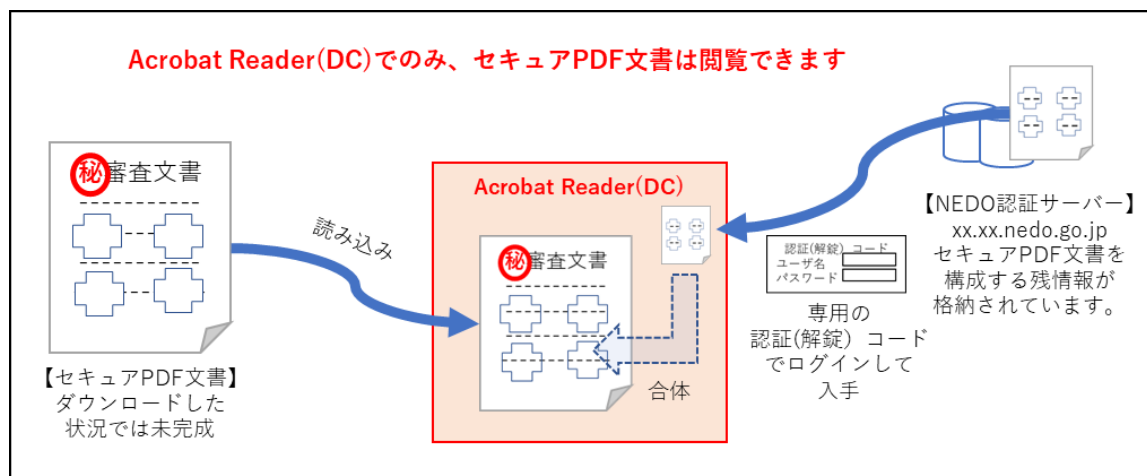
1. はじめに: セキュア PDF 文書とは?

NEDO では、機密性の高い提案文書など機微な文書に対して秘匿性保持のためセキュア PDF 認証機能を盛り込んだ PDF 文書での閲覧をお願いしております。(セキュア PDF 文書と呼びます)

先にお送りするセキュア PDF 文書(未完成状態の PDF)及び、NEDO 認証サーバーにログインして収集する残情報を Adobe Acrobat Reader(DC)内で合体させる事によって閲覧ができる、セキュリティ構造となっています。

NEDO ではこのセキュア PDF 認証をピアレビュー(書面審査)システム、公募(電子化)システムで採用しています。

【セキュア PDF 文書の閲覧の仕組み(イメージ図)】



このシステムに必要なソフト・環境

1. 対応する PC(OS)

Windows10/11 、 macOS Sierra(10.12)以降

2. Acrobat Reader (商品名称 : Adobe Acrobat Reader DC)

NEDO 認証サイトにアクセス可能な唯一のソフトウェアです。

下記サイトより無償で入手できます。

(<https://get.adobe.com/jp/reader/otherversions/>)

3. 認証(解錠)コード

NEDO 認証サイトにログインするために必要なユーザー名とパスワードです。

ピアレビューシステムと公募システムでは入手方法が異なります。

4. インターネット接続(信頼性管理マネージャ設定)

Acrobat Reader(DC)の認証管理マネージャで PDF からの Web アクセスする事を許可する設定が必須です。

NEDO 認証サイトのドメインとなる以下のサイトへのブロックをしないように設定してください。

nedo.go.jp

(通常はブロックしない構造になっています。詳細は最終章『参考.よくあるトラブルと対象方法』をご覧ください。)

(その他) Google Chrome

1. ※任意ですが、当システムおすすめの Web ブラウザです。

Google Chrome(無償)のダウンロードサイト

(https://www.google.co.jp/chrome/?brand=CHBD&brand=RPHE&gclid=EAlaIqObChMIzrijw8br7wIVF1ZgCh3VHw-qEAAAYASABEgJ-IPD_BwE&gclsrc=aw.ds)

※Windows10/Mac OS どちらにも対応しています。

2. セキュア PDF 文書、認証(解錠)コードの入手方法

セキュア PDF 文書を閲覧するためには以下の 2 種類の情報を入手します。

- ①セキュア PDF 文書の入手(ダウンロード)
- ②認証(解錠)コードの入手(専用ユーザ名、パスワード)

ピアレビューシステム、公募システムによって①、②の入手方法は異なります。

(1)ピアレビューシステムの場合

専用システムにログイン頂き①②はまとめて入手できます。

資料(PDFファイル)参照

資料(PDFファイル)をクリックするとPDFがダウンロードできます。
AcrobatReaderDCでこのPDFを開くと「ユーザー名」「パスワード」入力画面が表示されますので
下記の「ユーザー名」「パスワード」を「コピー」ボタンを使って、「ペースト」してください。

ユーザー名	パスワード	資料(PDFファイル)
FSXW19605 5	5gw3%LbZ+ F	28J1002交付申請書.pdf

開じる

②

①

ピアレビューシステムの入手画面

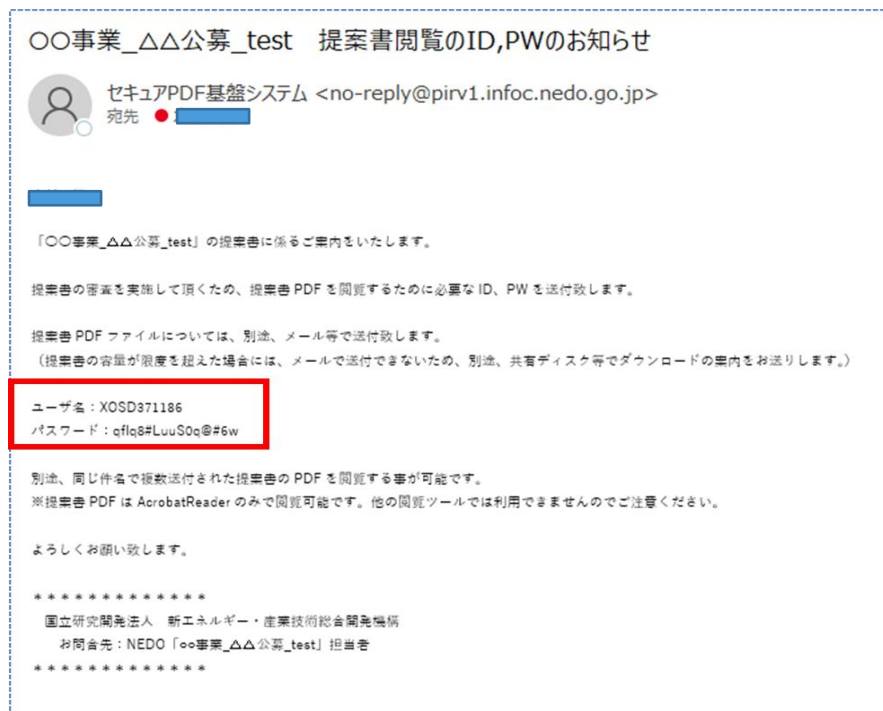
詳細はピアレビューシステム審査資料操作ガイドをご覧ください。

<https://app23.infoc.nedo.go.jp/qa/enquetes/PrsUserManualSite>

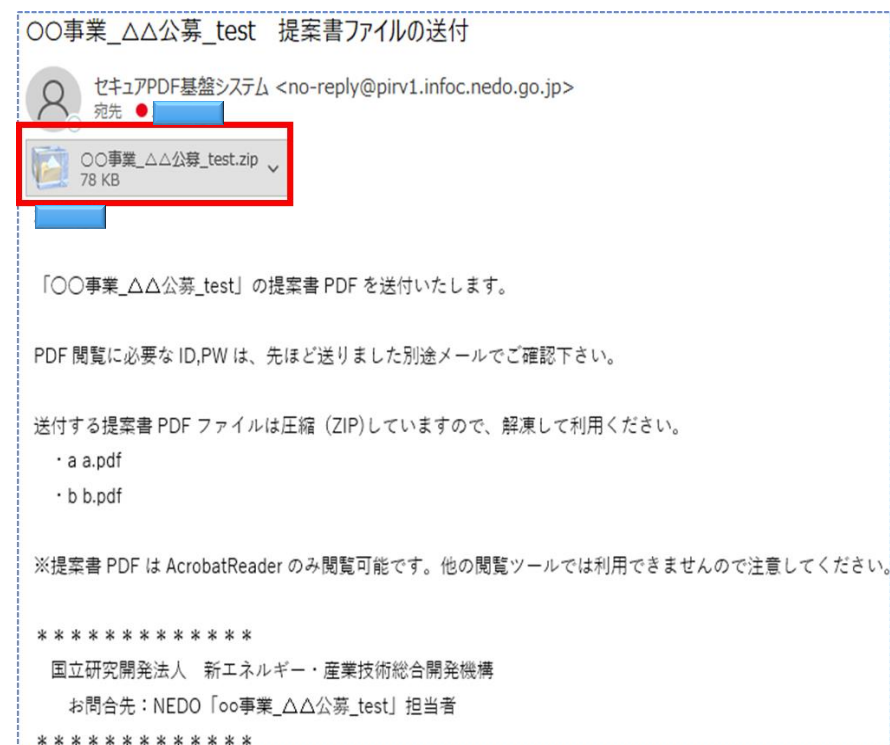
(2) 公募システムの場合

2通のメールが送られます。1 通はファイルの閲覧に必要な ID とパスワードが通知されており、もう1通は、ダウンロード用の PDF ファイルが送られてきます。

① ID、パスワードのお知らせメール



② 圧縮された PDF 版の提案書のメール



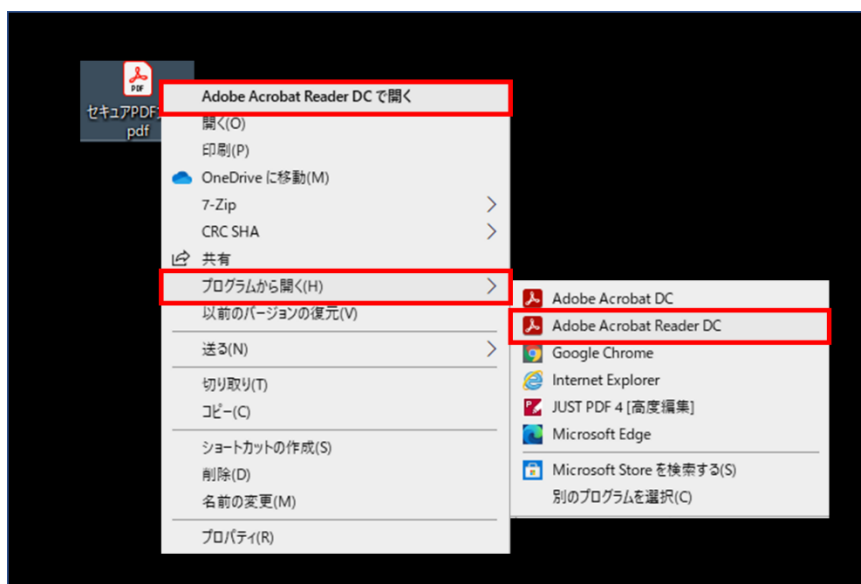
3. Adobe Acrobat Reader(DC)でのセキュア PDF 文書の閲覧

NEDO 認証サーバーへのログイン、文書の合体、閲覧は全て Adobe Acrobat Reader(DC)で行います。

(1) Acrobat Reader(DC)でセキュア PDF 文書を読み込む

セキュア PDF のファイルにマウスをフォーカスし右ボタンをクリックします。

右ボタンのない macOS のマウスをお使いの場合は control ボタンを同時に押しながらクリックします



Adobe Acrobat Reader(DC)を選んで下さい。

※1一覧にない場合は『プログラムから開く』からも選択できます。

※2AcrobatReader が項目にない場合は下記サイトより入手・インストール下さい。

(<https://get.adobe.com/jp/reader/otherversions/>)

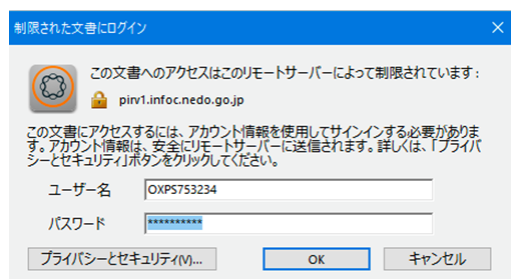
※3Windows11 等最新のバージョンではアイコン名は Adobe Acrobat Reader (DC)であっても、アイコン名が「Adobe Acrobat」と表示される場合がございますので、ご注意ください。

その場合は開いたアプリケーションの左上に記載されるアプリ名称でご確認ください。

(2) NEDO 認証サーバーにログインします。

セキュア PDF 文書を読み込むと自動的に認証サーバーへのログイン画面が表示されます。

(この画面は Acrobat Reader(DC)が表示しています。)



Windows の認証(解錠)画面



macOS の認証(解錠)画面

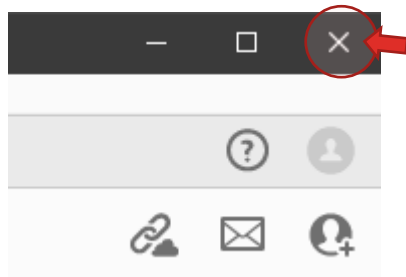
認証(解錠)コード(専用ユーザ名、パスワード)を入力してログインします。

(3) セキュア PDF 文書の残情報を合体させて完成版を作成・閲覧する

Acrobat Reader(DC)は自動的にソフト内でセキュア PDF 文書を合体・完成して閲覧できるようになります。

【重要】

閲覧中は認証(解錠)ログイン状態になっています。閲覧終了する際は認証(解錠)ログアウトを必ず次項(4)の認証(解錠)ログアウト作業を行ってから、Acrobat Reader(DC)を終了させて下さい。



ここで終了しないで下さい。

セキュア PDF 文書を開いたまま × でファイルを閉じないで下さい。

認証(解錠)ログアウトが行われないため一定時間次のログインができなくなる場合があります。

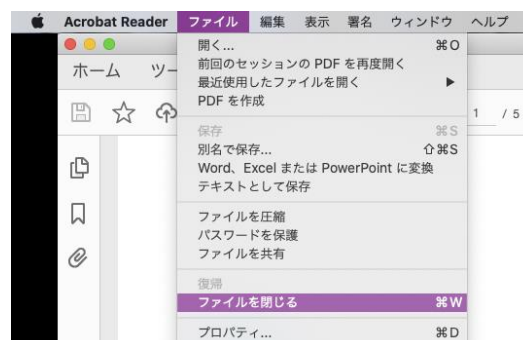
(4) NEDO 認証サーバーからログアウトして閲覧を終了する。

Acrobat Reader(DC)の『ファイル(タブ)』から『ファイルを閉じる』を選択します。

これにより NEDO 認証サーバーからログアウト作業を行います。



Windows の認証(解錠)ログアウト画面



macOS の認証(解錠)ログアウト画面

これで、閲覧は完了です。Acrobat Reader(DC)を終了させて下さい。

※誤って正常な終了を行わず、次の閲覧ができなくなった場合は、10 分程度お待ちください。

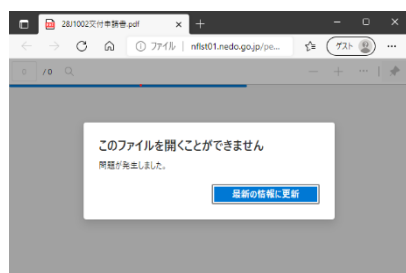
自動的にキャッシュ情報がリセットされて次の閲覧ができるようになります。

参考. よくあるトラブルと対処方法

1. エラー別一覧表

(1)『このファイルを開くことができません』『問題が発生しました』

のエラーが出た場合

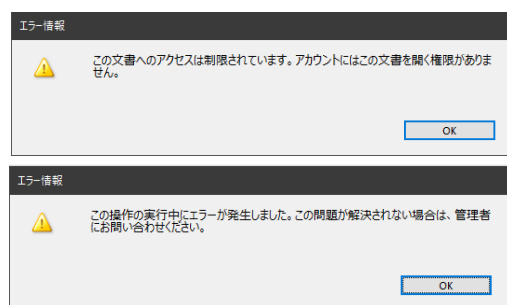


エラーを出しているのは Web ブラウザ (Microsoft Edge, macOS Safari) です。Acrobat Reader (DC) で開いていない場合に発生するエラーです。Acrobat Reader (DC) で開き直すことで問題は解決します。詳細はトラブルケース1をご参照下さい。

(2)『この文書へのアクセスは制限されています。アカウントにはこの文書を開く権限がありません。』

『この操作の実行中にエラーが発生しました。この問題が解決されない場合は、管理者にお問い合わせ下さい』

のエラーが出た場合



エラーを出しているのは Acrobat Reader (DC) です。NEDO 認証サーバーにうまくログインできない、もしくはセキュア PDF 文書と合体させる残情報が「合っていない」場合に発生するエラーです。前の認証のログアウトを行う、もしくは認証情報のキャッシュの自動クリア (10 分程度) を待って再アクセスする事で問題は解決します。詳細はトラブルケース2をご参照下さい。

(3)『セキュリティ警告: この文書は次のサイトに……』と表示され『ブロック』と『許可』の選択が出る場合

『許可』を選んでも、認証サーバーログイン画面が出てこない場合



エラーを出しているのは Acrobat Reader (DC) です。Acrobat Reader (DC) 搭載の信頼性管理マネージャーが Web アクセスをブロックする設定になっています。この設定を変更することで問題は解決します。詳細はトラブルケース3をご参照下さい。

(4) Acrobat Pro (DC) が起動し、上記 (2)、(3) のエラーが発生する場合

同じ Adobe 製品でも Acrobat (Pro) DC は PDF 編集、社内決裁にも使われる有償ソフトウェアです。

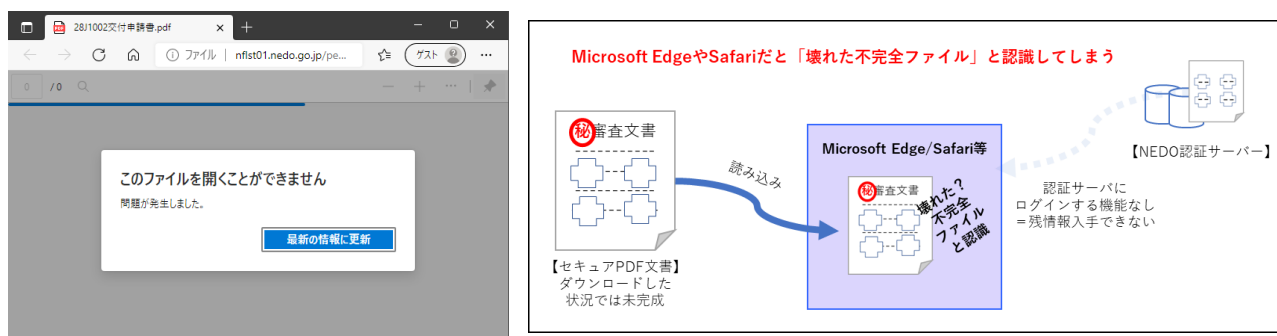
セキュア PDF の閲覧用途にはお奨めしませんが、解決方法について記載します。

詳細はトラブルケース4をご参照下さい。

2. 各ケース別トラブル対応方法

トラブルケース1

『このファイルを開くことができません』『問題が発生しました』のエラーが出た場合



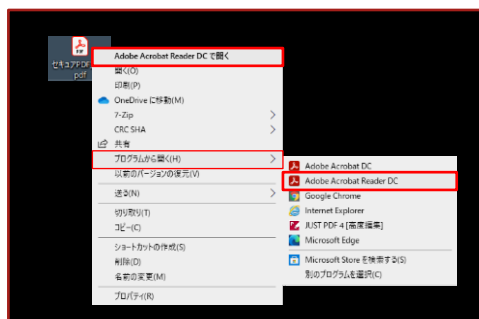
エラーを出しているのは Web ブラウザや他のアプリになります。

セキュア PDF 文書をそのまま左クリックすると、Windows や macOS で設定したデフォルトのソフトウェアで開きます。デフォルトソフトウェアが Web ブラウザ (Microsoft Edge、Safari) に設定されている場合、セキュア PDF 文書をそのまま左クリックすれば、Web ブラウザでセキュア PDF 文書を開いてしまうことになります。

【対応策】

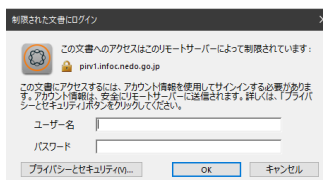
セキュア PDF 文書を右クリックします。

(macOS で 1 ボタンマウスをお使いの場合は control ボタンを押しながらクリックします)



Acrobat Reader(DC)を選択します。

(左記 2 カ所のどちらを選択しても構いません)



NEDO 認証サーバーへのログイン画面が出たら

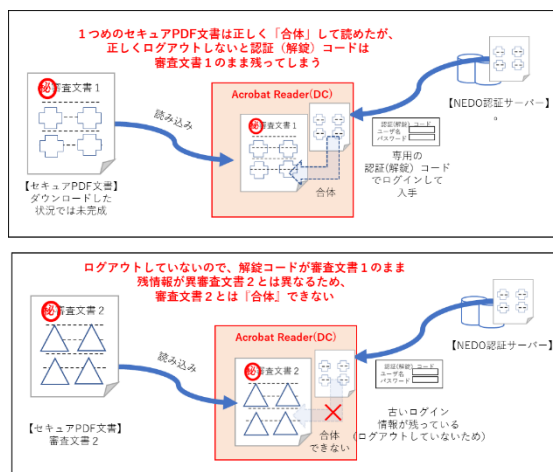
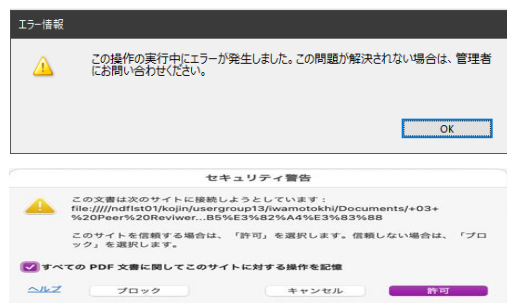
認証 (解錠) コードを入力してログインすれば閲覧できます。

トラブルケース 2

『この文書へのアクセスは制限されています。アカウントにはこの文書を開く権限がありません。』

『この操作の実行中にエラーが発生しました。この問題が解決されない場合は、管理者にお問い合わせ下さい』

のエラーが出た場合



エラーを出しているのは Acrobat Reader(DC)です。

直前の作業で、「正しく NEDO 認証サーバーからログアウトしなかった(できなかった)」状況で別のセキュア PDF 文書にログインできない/古いログイン情報が残っている時のエラーです。

【対応策】

ログイン情報は 10 分程度でクリアされます。しばらく経ってからログインし直してください。

なお、正しいログアウト方法は以下の通り、Acrobat Reader を開いたまま、セキュア PDF 文書を『ファイルを閉じる』で

終了させるようにして下さい。

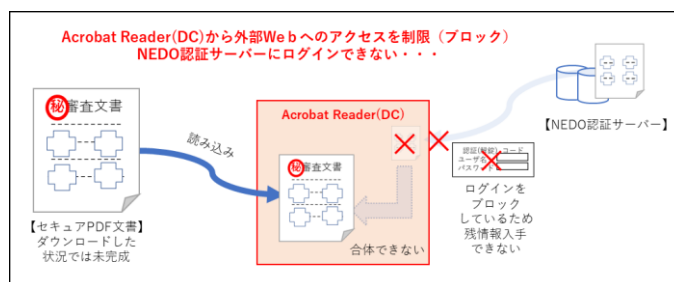
この作業で、正しく NEDO 認証サーバーからログアウトできます。



トラブルケース3

『セキュリティ警告:この文書は次のサイトに……』と表示され『ブロック』と『許可』の選択が出る場合

『許可』を選んでも、認証サーバーログイン画面が出てこない場合



Acrobat Reader(DC)搭載の信頼性管理マネージャーが Web アクセスをブロックする設定になっているために表示されるエラーです。セキュア PDF 文書から NEDO 認証サーバーへのアクセスをブロックしようとするためにこの警告がでます。また『許可』を選んでもすでにタイムアウトしているため認証サーバーに接続されないため発生する問題です。

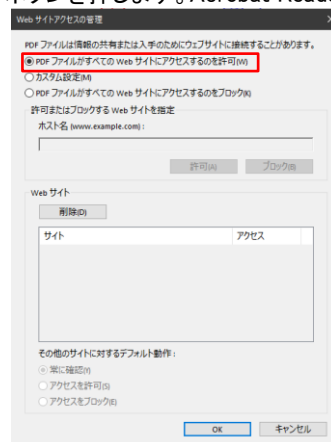
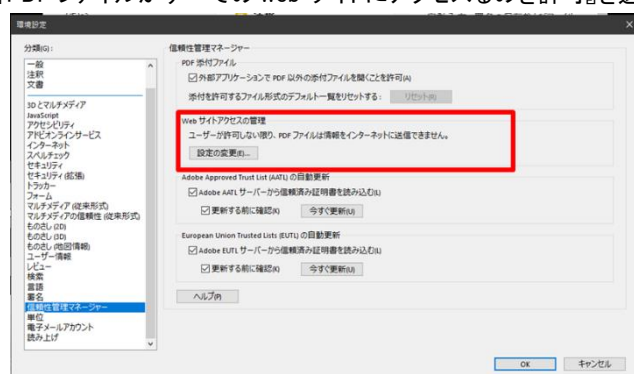
【対応策】

信頼性管理マネージャーで Web アクセスをブロックする設定を解除します。

Acrobat Reader(DC)の環境設定を開きます。

Windows の場合 編集(E) ⇒ 環境設定(N) ⇒ 信頼性管理マネージャー ⇒ Web サイトアクセス「設定の変更」

『PDF ファイルがすべての web サイトにアクセスするのを許可』を選択して OK ボタンを押します。Acrobat Reader(DC)を再起動します。



macOS の場合はアップルマーク横 Acrobat Reader ⇒ 環境設定で同じ画面が開けます。



トラブルケース4

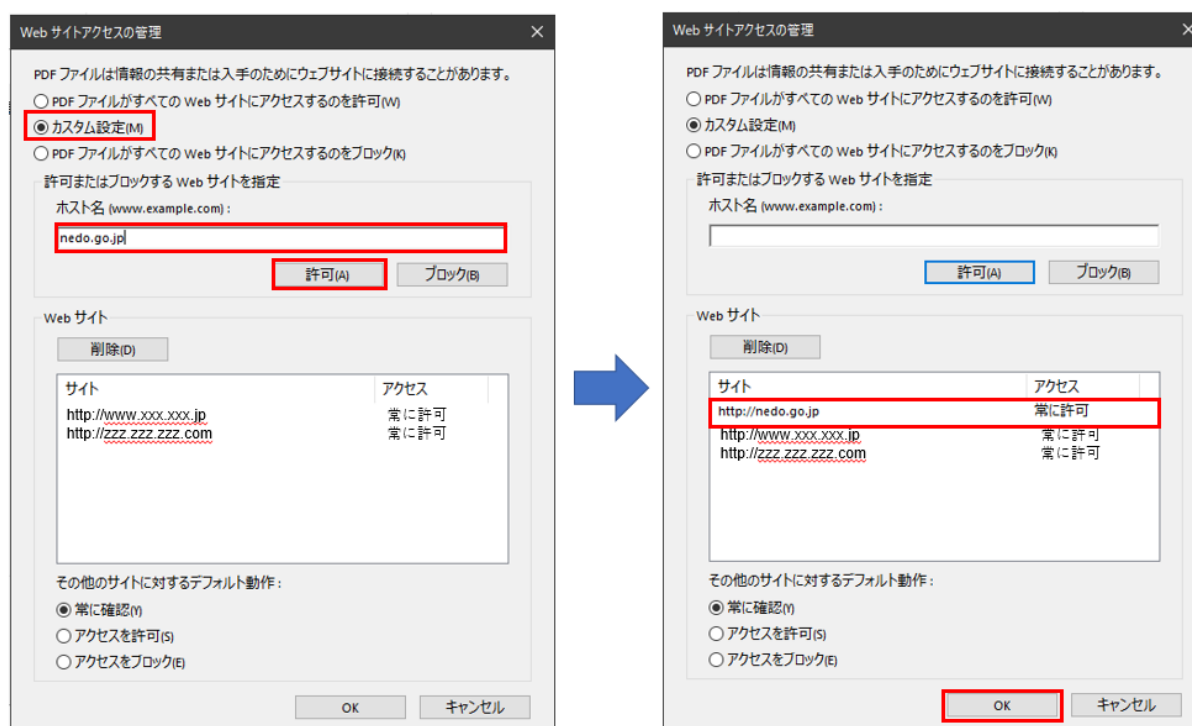
Acrobat Pro DC を使って、上記(2)、(3)のエラーが発生する場合

【注意】

同じ Adobe 製品でも Acrobat Pro DC は PDF 編集、社内決裁にも使われる多機能有償ソフトウェアです。本来別用途で使われているセキュア PDF の場合、閲覧用途にはお奨めしませんが、どうしてもこのソフトで閲覧されたい場合は、ご自身のシステム部門とご相談の上、「信頼性管理マネージャー」の「Web サイトアクセスの管理」に NEDO 認証サーバーのドメインを登録下さい。

【対応策】

トラブルケース3と同じ信頼性管理マネージャー ⇒ Web サイトアクセスの管理を立ち上げます。



最後に OK ボタンを押して Acrobat Reader を再起動して下さい。

※他のサイトの設定は絶対いじらないようにして下さい。

他のトラブルケース

上記 4 種のケース以外のエラー/対処事例を記載します。

■「この文書を見るために Internet に接続してください」というエラーが出た場合

Internet に接続しているのにこのエラーが出る場合は、ネット環境の設定が考えられます。

セキュア PDF 文書のダウンロード＝受信側、NEDO 認証サーバーへのログイン＝送信側となります。

送信側に何かのブロックが行われていることが考えられます。

いろいろな原因が考えられますが、代表的な2例を記載いたします。

例1 送信ポートに制限、もしくは変更をかけているケース

大学や企業の構内ネットワークでは漏洩や不正使用を防ぐため一般的な送信ポートをブロック、もしくはポート番号を変更している場合があります。この場合はネット管理者に相談して下さい。

難しい場合は異なるネットワーク環境でお試ください。(職場の Wifi ではなく、自宅等の Wifi で接続する等)

例2 IPv6を使ったネット環境を使われている場合

最新の TCP/IP である IPv6は途中の Internet 経路の中継サーバーが対応していないケースが多く、認証情報が途中でストップしてしまうケースが報告されています。

お手数ですが、従来の IPv4 (一般的な4つの数字の IP アドレス環境)での環境にて認証をお試し下さい

例3 市中のWifi、交通機関等移動中の環境等 不安定なInternet環境の場合

これらの環境の場合、受信側に比べ、送信側の容量が小さい、不安定な事がございます。

安定したネットワーク環境での実施をお願いいたします。

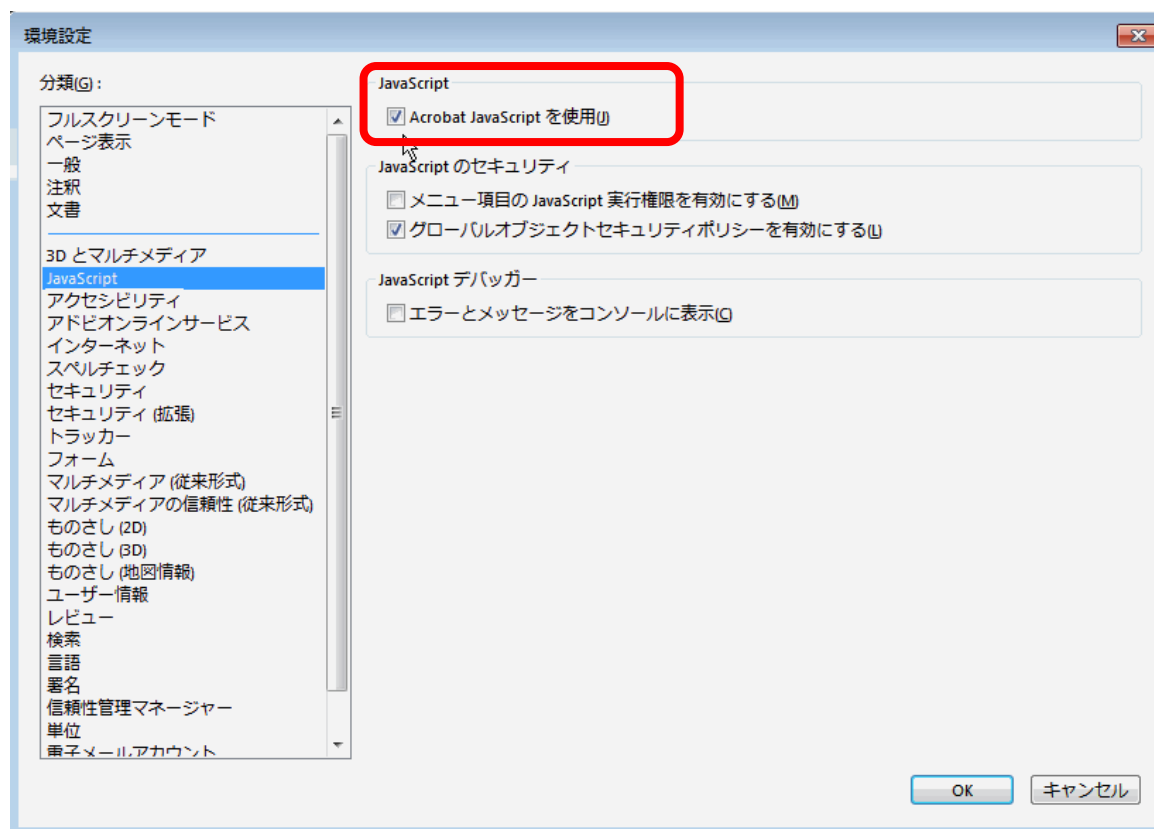
■上記エラー対策をしても認証サーバーログイン画面が表示されない場合

上記の方法を行ってもファイルが開けない場合は、各種設定が影響している場合があります。
各アプリの設定で懸念される設定を記載いたしますのでご参考にしてください。

【AcrobatReaderDCのJavascript制限設定を確認する】

Acrobat Reader DC の設定で認証画面の立ち上げをブロックする機能を確認します。

メニューバーの編集(E)から環境設定(N) (一番下にあります)を選択します。

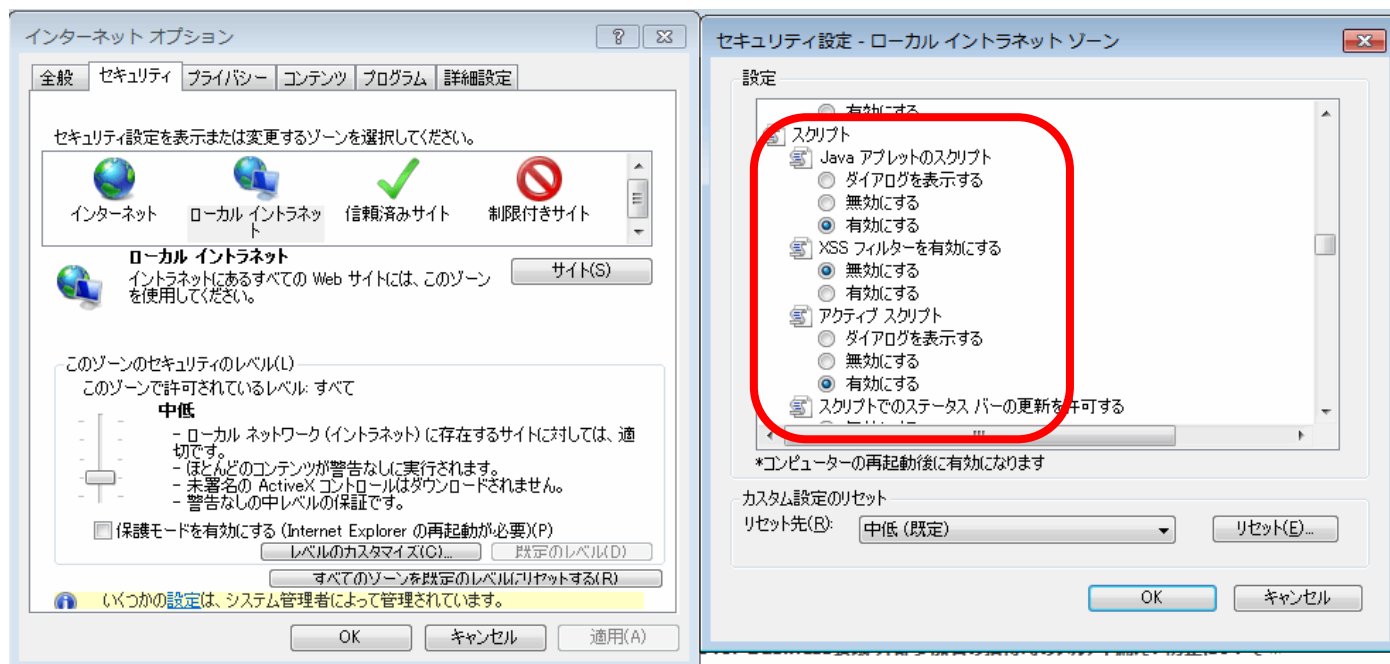


Javascriptの項目のAcrobat JavaScript を有効にしてください。

【Internet Web ブラウザ及びプラグイン設定のプラグインを解除する】

セキュア認証は、WEBブラウザのエンジンを一部使っていますので、Webブラウザの設定が影響することもあります。

①Internet Explore の場合(例)



メニューバー → ツール → インターネットオプション → セキュリティ(左) → レベルのカスタマイズ画面(右)

この中からスクリプト項目を選び、以下の3つの項目を「有効」に切り替えてください。

Javaアプレットのスクリプト、 アクティブスクリプト、 リプトによる貼り付け処理の許可

※ポップアップウィドウは JavaScript で構成されています。ポップアップウィンドウやJavascriptをブロック、無効にする設定をいったん一時停止いただきますようお願いいたします。

②Microsoft Edge の場合(バージョンによって設定が異なります)

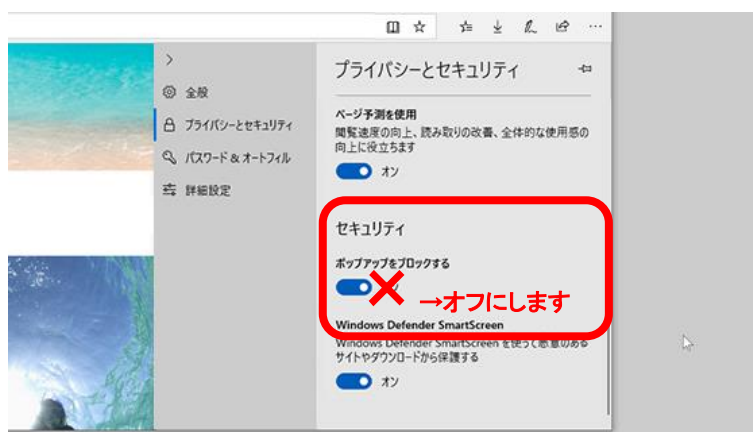
バーにある「…」ボタン → 設定 → サイトのアクセス許可 → ポップアップとリダイレクト

このトグルスイッチを「オフ」にしてください。

※古いバージョンのEdgeの場合

バーにある「…」ボタン → 設定 → プライバシーとセキュリティ → ポップアップをブロックする

このトグルスイッチを「オフ」にしてください。



その他Googleツールバーのようなプラグインソフトや一部ウィルスチェッカーにもポップアップウィンドウをブロックする機能が含まれている場合があります。

この場合も一旦ポップアップブロックを解除頂きますようお願いいたします。

また上記設定は、設定変更後再起動が必要な場合がございます。

念のため設定を変更されましたら、再起動頂きますようお願いいたします。

■10分以上待ってもセキュアPDF文書が閲覧できない場合

ネット環境含めた、どこかにキャッシュ情報として前の認証サーバーログイン情報が残っている場合があります。

この場合は念のためネットワーク上にある全てのキャッシュのクリアを行います。

①Acrobat Reader DC のリフレッシュ対応

Acrobat Reader DC を立ち上げます

メニューバー ⇒ ファイル(F) ⇒ アプリケーションを終了する(X)

これを1～2回繰り返します。

②PC(OS)の対応

LAN 接続を解除して PC を再起動します

これを1～2回繰り返します。

③認証サーバーの対応

①、②を行った上で最長10分程度お待ちください。自動的にリフレッシュします。

①、②を行わずに認証サーバーにつながますとリフレッシュはされず長時間リフレッシュされませんのでご注意ください。

■Acrobat Reader DC をリフレッシュ(再構築)する。

どうしても障害が解消しない場合の対処方法です。

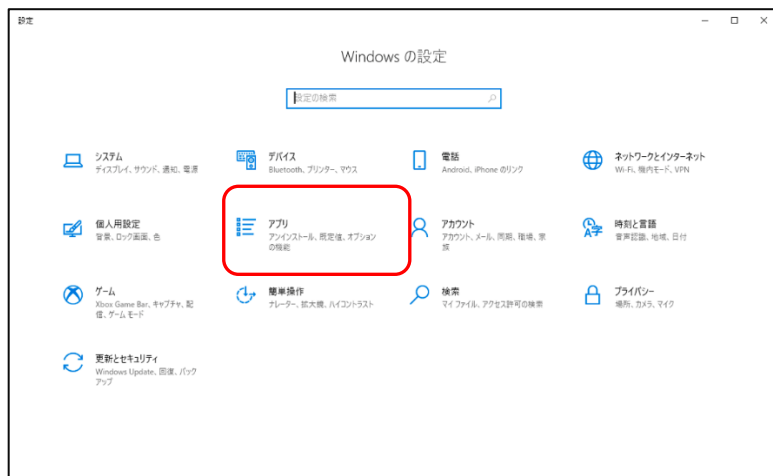
例)最新のAcrobat Reader DCをインストールしたにも関わらず、セキュア認証画面が出ない。

タイミングによって認証画面が出たり、出なかったりする。

Acrobat Readerの古いバージョンや他のPDFソフトが混在している場合は、タイミング、環境状態で認証画面が出ない事例が報告されています。この場合一旦AcrobatReader 及び関連ソフトを一旦完全にアンインストールした後に改めて最新のAcrobat Reader DC を新しくインストールします。

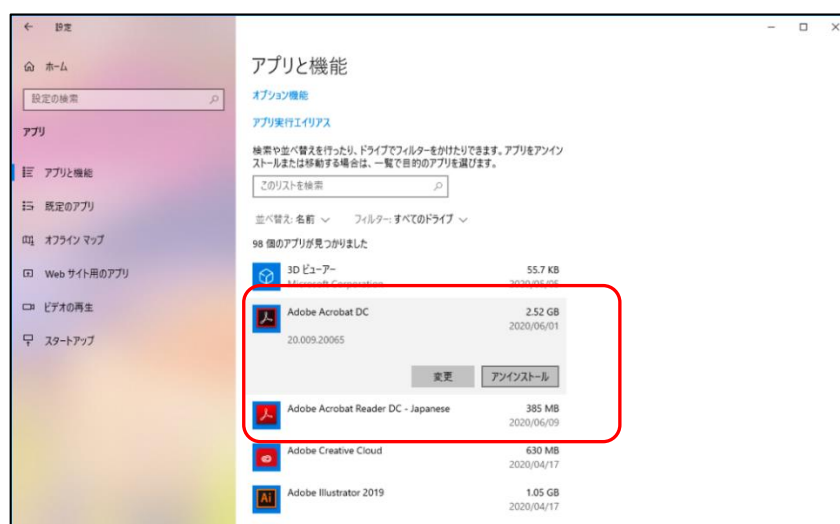
Windows10を例に手順を記載します。

手順1 Windows10 の設定 → アプリを選択します。



手順2 Acrobat Reader DCをクリックしてアンインストールします。

図のように可能であればPDF関連のソフトを一旦全てアンインストールします。
(アンインストールするアプリは可能な範囲で結構です。)



手順3 PCを再起動します。

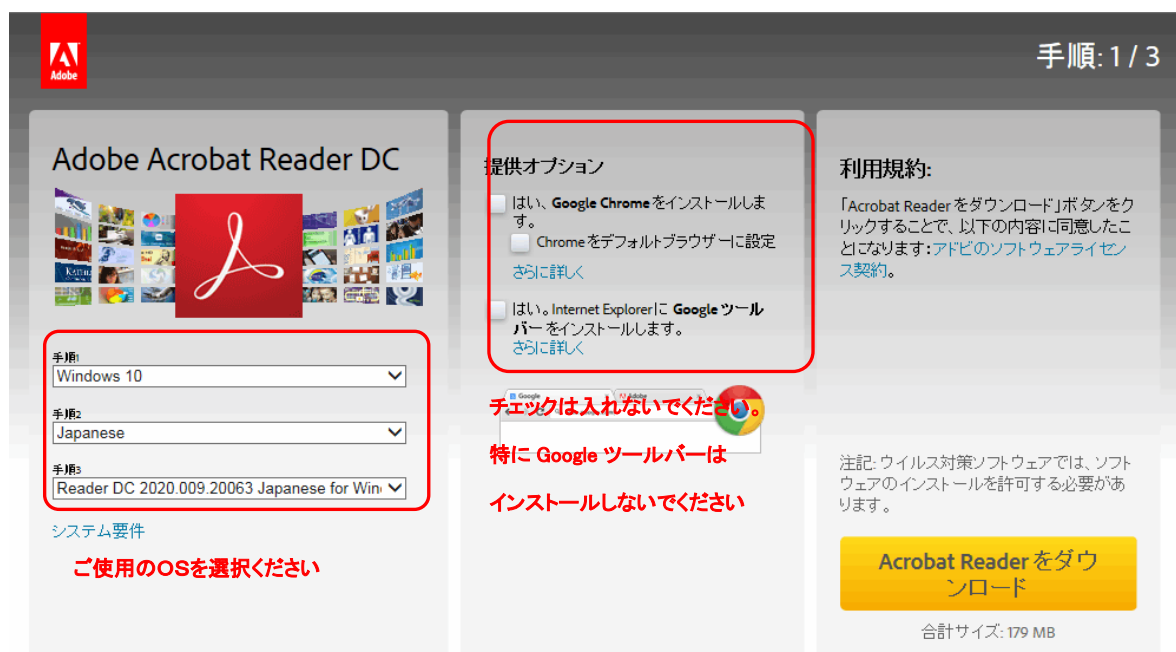
(これでAcrobat ReaderおよびPDF関連のモジュールは全撤去されます)

手順4 Acrobat Reader DC 最新版を新しくインストールしなおします。

最新版AcrobatReaderDCのダウンロードサイト(<https://get.adobe.com/jp/reader/otherversions/>)

※OSに合わせたバージョンを選択ください。

※Googleツールバーは絶対にインストールしないでください。



手順5 これでAcrobat Reader DC のリフレッシュは完了です。

※Acrobat Reader DC のリフレッシュはPCのデフォルト設定を変更してしまう場合があります。

ほかの業務に影響を与えてしまう可能性がありますのでご注意ください。

制作

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

文中掲載の商品名、商品ロゴ、アプリケーションの画面は全て商標または登録商標保有の会社に帰属します。

「Adobe」「Adobe Acrobat」「Adobe Acrobat Reader」「Adobe Acrobat Pro」および Adobe ロゴは、アドビシステムズ社の米国及びその他の国における登録商標です。

「Macintosh」「macOS」は米国 Apple Computer 社の登録商標または商品名称です。

「Windows」は米国 Microsoft Corporation および、その他の国における登録商標または商品名称です。

<Ver1.1> 2022年 2 月 25 日改訂版